

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社しあわせチーズ工房
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：2,300,000円（4,968,000円）

4 事業内容

チーズ製造量の増加による事業規模拡大に向けて、製造室、包装室、授乳室の増築と改修（授乳室5坪、更衣室2坪、製造室6.25坪、包装室2.25坪）を実施。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量 (kg)					年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円) /年間製造量 (トン)		年間販売額 (千円)		備考
		ハード	セミハード	フレッシュ	ウオッシュ	セミハードフレッシュ						
現況値 (平成29年度)	104kg/日	1343	1055	312	121	756	13,318	3712.9	-	19,981	-	
目標値 (令和3年度)	163kg/日	2125	1425	385	600	1155	21,345	3751.3	(1.01)	29,263	(1.46)	
実績 (令和3年度)	164kg/日	3300	1625	50	800	0	24,505	4093.7	(1.10)	31,089	(1.55)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額が目標を上回っていることから、目標以上の成果を達成したと評価する。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：足寄町農業協同組合
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：9,352,500円（20,516,600円）

4 事業内容

生産量が少なく生産効率が低いことから、製造コストが高くなってしまいう課題に対し、製造量を増加するために機械を導入し、練り作業を1人体制で行なうことでセミハードの製造や包装作業の効率性を図ることで製造量と販売量の増加に取り組む。また、冷蔵熟成庫を配備することでフレッシュタイプのチーズを増産し、既存の乳製品販売ルート及び現状取引先の販売量の増加を図るとともに、既存には無い新規取引先取得に向け販売ルート構築等を積極的に進めていく。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量				年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		モッツアレラ	カマンタイプ	ラクレット	ラクレットフレッシュ						
現況値 (29年度)	0.8トン/日	3.9トン	0.5トン	7トン	9.6トン	42,265	2051.7	-	51,000	-	
目標値 (33年度)	1トン/日	6.6トン	0.5トン	7トン	11.8トン	51,598	1992.2	(0.97)	63,040	(1.24)	
実績 (3年度)	0.8トン/日	6トン	0.5トン	7トン	8トン	57,113	2719.7	(1.33)	52,478	(1.03)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。
なお、評価報告に記載ある目標達成に向けた改善の取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社NEEDS
- 2 事業実施期間：令和元年度
- 3 補助額（事業費）：5,250,000円（11,550,000円）

4 事業内容

パスタフィラータ系の新商品開発ならびに既存製品の増産、さらには業務用大口ロットへも販路を広げ、販売額の10%増を図る。
 その為に、既存製造施設内にパスタフィラータ系の練り機（インバータ制御機能付き、SR70 Black Teflon処理、成型機一体型）を導入し、インバータ制御の利点を生かし、時間当たりの処理スピードのアップを図り、将来的には2台稼働での生産体制を整え、ロット当たりの生産量を増加する。
 結果、大口顧客への提供も可能となり、それに伴い販売額の10%増を図る。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム						
現況値 (H30年度)	1.340t/日	24,146kg	8,104kg	4,932kg	3,138kg	836kg	95,826	2,328	-	171,756	-	
目標値 (R3年度)	1.400t/日	27,000kg	8,770kg	5,340kg	3,400kg	880kg	100,826	2,221	(0.95)	188,940	(1.10)	
実績 (R3年度)	1.480t/日	17,660kg	8,023kg	5,744kg	2,523kg	591kg	83,231	2,409	(1.03)	135,657	(0.79)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。
 なお、評価報告に記載ある目標達成に向けた改善の取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社広内エゾリスの谷チーズ社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：49,932,918円（120,016,000円）

4 事業内容

コスト低減や生産効率を意識したチーズ製造設備を整備することで、国際的に競争力のある品質や価格でのチーズ製造・販売を行うため、新たにチーズ工房を建設する。
 チーズの生産に当たっては、消費者の視点に立ち、生活の満足度が高まる価値の創造を目指し、放牧酪農を中心とした自然に即した農業の実践について、2次生産加工の立場から積極的な官民地域連携に取り組み、高品質なチーズ生産を通じて地域経済の活性化への貢献を図る。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)			年間販売額 (千円)		備考
		ラクレット	白カビ	フレッシュ	グリュイエール	ルブロッション							
現況値 (令和1年 度)	0	ラクレット 0.0トン	白カビ 0.0トン	フレッシュ 0.0トン	グリュイエール 0.0トン	ルブロッション 0.0トン	0	0	-	738	-		
目標値 (令和3年 度)	0.33	ラクレット 6.4トン	白カビ 5.9トン	フレッシュ 1.2トン	グリュイエール 0.4トン	ルブロッション 0.3トン	27,971	1,970	()	46,382	()	令和2年2 月竣工	
実績 (令和3年 度)	0.4	ラクレット 1.0トン	白カビ 6.5トン	フレッシュ 1.7トン	グリュイエール 0.0トン	ルブロッション 0.0トン	15,527	1,688	()	28,329	()		

注：()には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標を上回ったものの、年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。
 なお、評価報告に記載ある目標達成に向けた改善の取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：東円牧場株式会社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：65,683,500円（160,315,650円）

4 事業内容

フランス原産のノルマンディー種の乳を利用して、ノルマンディー地方の特産品である白カビチーズを生産します。そのために必要なチーズ工房建屋またチーズ製造機器(チーズバット、熟成室、冷蔵室、冷凍庫、蒸気ボイラー等)を新規に導入し、国内産本格白カビチーズとして高付加価値な製品の製造・販売を行います。同時に、白カビチーズのブランド化を推進し、国内競争力を高めて参ります。また、北海道浜中町にフランスノルマンディーのテロワールを重ね合わせることで、浜中町の新たな特産品を生み出し、地域活性化の一翼を担って参ります。

チーズ製造に関しては、タカナシ乳業株式会社より技術者に出向いただき、生産・指導を行っていただきます。また、販売方法に関してはタカナシ乳業株式会社を通して流通いたします。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製成品目・年間製造量		年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (令和元年度)	0			0	0	-	0	-	
目標値 (令和3年度)	0.197	白カビ		29,089	3,402	()	44,870	()	
		8.55トン							
実績 (令和3年度)	0.032	白カビ		23,224	22,657	()	9,620	()	
		1.025トン							

注：()には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。
なお、評価報告に記載ある目標達成に向けた改善の取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：ニセコチーズ工房有限会社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：51,900,000円（132,000,000円）

4 事業内容

チーズ工房を新築。約82㎡だった工房を約306㎡へ拡大、熟成庫も約3倍に拡大し熟成管理の精度もアップさせ、生産量を年11.2トンから14.3トンへ増産した。加えて、2トンチーズバットと大型圧搾機を導入して増産体制を強化し、チーズバットの自動攪拌機の導入と真空包装機の大型化によりローコストオペレーションを実現した。更に、ブラックアウトなどの不測の事態に対応するための自家発電装置や金属探知機の導入により危機管理体制も整備して、安心・安全な製造設備とした。

熟成庫を拡大して精度もアップしたことで、新商品を開発する環境も整い、新商品6アイテム、長期熟成チーズを開発することができ、付加価値ある商品の提供につながった。（例：椀2年熟成→世界チーズコンテストでスーパーゴールド受賞）。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		ハード①	ハード②	ブルー	モzzarella	その他ソフト						
現況値 (H30年度)	0.239	3.4トン	3.7トン	1.9トン	0.4トン	1.8トン	27,437	2,449	-	56,626	-	
目標値 (令和3年度)	0.457	4.0トン	7.0トン	5.0トン	0.4トン	3.6トン	42,750	2,138	(0.87)	100,000	(1.77)	
実績 (令和3年度)	0.349	4.0トン	5.0トン	3.0トン	0.3トン	2.0トン	49,174	3,521	(1.44)	87,901	(1.55)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。
なお、評価報告に記載ある目標達成に向けた改善の取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社あすなろファーム
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：22,717,246円（50,328,000円）

4 事業内容

有限会社あすなろファーム(以下、「当社」という。)は、十勝酪農地帯(清水町)において、土、草、牛の自然な好循環にこだわった生乳を原材料として、25年以上にわたり、牛乳、ヨーグルト、バター等を製造加工・販売してきた。チーズについては、当社ではチーズ製造施設を持たないことから、バイヤー等からの品揃えに係る要請(当社ブランドによるチーズ販売)に応える形で、他工房で製造したナチュラルチーズを仕入・販売してきた。しかしながら、今後の国際化の進展等を考慮すると、チーズについても、生産性や品質の向上を図りつつ、真に競争力のある製品を、当社で効率的に製造加工していく必要があると考えている。そのため、原料の生乳生産については、引き続き、十勝の大自然を活かしたこだわりの良質の生乳を生産するとともに、生乳生産牧場の当社で効率的に製造加工していくため、生乳生産牧場の近傍にチーズ製造加工施設を整備し、(一財)蔵王酪農センター、先進チーズ工房等の高水準の技術を導入しつつ、生産性が高く競争力のある当社ブランドの多様なナチュラルチーズを製造・販売し、消費者にこだわりの高品質チーズを提供することにより、次の事項を達成することを目的とする。

(1) 十勝の大自然の恵みを活かしたサステナブルな酪農、乳製品加工の定着 (2) 顧客、地域住民、来訪者等に対する正しい食知識の普及と国産牛乳乳製品の消費拡大 (3) チーズ製造加工施設を核とした地域の観光拠点の創設

なお、本事業を実施することにより、輸入品に対抗できる競争力のある乳製品の製造が実現するのみならず、国内チーズ工房との切磋琢磨等を通じて、国内の牛乳乳製品製造全体の合理化、効率化に寄与できるものと考えている。

5 成果目標の達成状況

現況値 (〇年度)	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量				年間製造経 費	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)			年間販売額 (千円)		備考
		(例)白カビ 〇〇トン						()	()	()	()	
目標値 (令和2年 度)	0.3	フレッシュ 1433.85kg	カチヨカバロ 1433.85kg	ラクレット 2737.35kg	長期熟成 2737.35kg	10,945	1,312	()	44,254	()		
実績 (令和2年 度)	0.2	フレッシュ 0	カチヨカバロ 0	ラクレット 653.9kg	長期熟成(ゴーダタイプ) 158.9kg	1,907	2,346	()	3,040	()		
実績 (令和3年 度)	0.2	フレッシュ 0	カチヨカバロ 0	ラクレット系 535.9kg	長期熟成(ゴーダタイプ) 333.9kg	2,222	2,556	()	4,445	()		

注：()には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。
なお、令和4年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社 アドナイ
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：8,150,000円（17,604,000円）

4 事業内容

現在、比較的短期間の熟成によるチーズ製造となっているが、これは熟成室の収容能力が不足しているためである。新たに熟成室を新設することにより生産量を増やし、生産コストの削減を目指す。長期間の熟成により付加価値を高めたチーズで新たな販路を開拓する。あわせて、製造コストの低減に繋がるカット包装室を新設し、さらなる収益性の向上に取り組む。

5 成果目標の達成状況

	(トン/日)	製造品目・年間製造量		年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円) / 年間製造量 (トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (29年度)	0.29	カチョカバロ	6.5	22,500	1,957	-	44,000	-	
		セミハード	3.6						
		白カビ	0.4						
		ウオッシュ	0.3						
		合計	10.8						
目標値 (32年度)	0.47	カチョカバロ	6.5	32,000	1,711	(0.87)	58,000	(1.32)	
		セミハード	5.6						
		白カビ	1.2						
		ウオッシュ	1.2						
		ハード	4.2						
		合計	18.7						
実績 (2年度)	0.24	カチョカバロ	3.5	30,434	2,415	(1.23)	40,000	(0.91)	
		セミハード	5.2						
		白カビ	0.3						
		ウオッシュ	0.4						
		ハード	3.2						
		合計	12.6						
実績 (3年度)	0.34	カチョカバロ	3.2	27,000	2,015	(1.03)	50,000	(1.14)	
		セミハード	5.2						
		白カビ	0.3						
		ウオッシュ	0.4						
		ハード	4.3						
		合計	13.4						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。
 なお、令和4年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：さらべつチーズ工房
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：29,465,000円（63,644,400円）

4 事業内容

生産能力の向及び製品の高品質化を実現するため、製造設備の集約化（離れた位置にあったチーズの製造室、熟成庫、パッケージ室を1ヶ所1棟として集約拡大し、作業内容に沿って効率的に配置）を実施した。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量				年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		ハードチーズ	ブルーチーズ	ウォッシュチー ズ	モッツアレ ラ						
現況値 (平成30年 度)	0.36	2.1	1.54	1.8	0.91	24,194	3,810	-	25,229	-	
目標値 (令和2年度)	0.5	2.94	2.16	2.52	1.28	29,668	3,333	(0.87)	35,040	(1.39)	
実績 (令和2年度)	0.34	1.32	0.2	0.31	0.93	8,371	3,033	(0.80)	23,819	(0.94)	
実績 (令和3年度)	0.33	1.01	0.37	0.39	1.05	5,770	2,046	(0.54)	17,383	(0.69)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標を上回ったものの、年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和4年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：チーズ工房チカブ
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：3,100,000円（6,696,000円）

4 事業内容

熟成スペースの不足により、生産量が上げられない状況であったため、本事業にてボトルネックになっていた熟成庫および製品保管庫の増設を行った。熟成庫および製品保管庫は、2018年8月に完成し、9月から運用を開始した。

これにより生産量を徐々に増やすことができたが、運用当初では熟成環境が変わることで品質が不安定になることがあった。熟成庫の温度・湿度のコントロールや癖をつかみ適切なチーズの熟成方法を得るため一定の期間を必要とした。2020年度は、ある程度熟成環境の癖をつかめたことで、チーズの品質が安定してきたところだったが、コロナ禍の影響により、先が見通しづらく、在庫過多とならないよう生産のペースを上げられない状況となった。

2021年度は徐々にコロナ禍を抜けつつあることで、販売の先行きが見通しやすくなり生産量を増やすことができた。また、昨年度は着手できなかった長期熟成チーズの製造もおこなった。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量(kg)					年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		ハード	セミハード	白カビ	フレッシュ	長期熟成						
現況値 (2017年)	0.075	559	663	384	274	0	8,902	4,634	-	13,536	-	
目標値 (2020年)	0.100	823	948	390	295	70	10,156	4,022	(0.87)	16,151	(1.19)	
実績 (2020年)	0.083	490	747	658	279	0	9,613	4,422	(0.95)	18,584	(1.37)	
実績 (2021年)	0.097	751	748	636	288	42	10,185	4,132	(0.89)	18,409	(1.36)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額は目標を上回り、製造コストは10%以上低減されていることから、おおむね目標どおりの成果を達成したと評価する。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社 竹下牧場
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：19,648,500円（42,660,000円）

4 事業内容

新たにチーズ工房を建築し、平成30年度より製造を開始する。製品は店舗・飲食店に販売をするほかに、牧場来場者への販売、牧場アクティビティに利用する。また（株）山川が管理運営するゲストハウス『USHIYADO』と連携した農泊ビジネス（農商工連携事業 通巻番号1-29-078）における宿泊者への地元農産物を利用した飲食の提供・お土産品の販売にも活用する。これらの事業を行うことにより、酪農の価値と魅力、北海道中標津のよさをアピールしていく。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (kg/日)	製造品目・年間製造量			年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年1月)	0				0	0	-	0	-	
目標値 (R2年度)	82	コンテ	ラクレット	バスタフィラータ	7,046	2,610	()	11,880	()	
		900kg	900kg	900kg						
実績 (R2年度)	41	マリポー	バスタフィラータ	リコッタ	3,710	2,487	()	3,984	()	
		820kg	600kg	72kg						
実績 (R3年度)	35	マリポー	バスタフィラータ	リコッタ	3,087	2,563	()	5,082	()	
		540kg	600kg	64kg						

注：()には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標を上回ったものの、年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和4年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社牧家
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：31,250千円（100,488千円）

4 事業内容

・新工場設置により作業スペースを20平米拡張することで、もっとも人手のかかっていた梱包作業を自動化することを可能とする
 ・主力商品であるカチョカヴァロは成型作業の効率化及び乾燥時間の短縮が難しい為、形状を変え製造工程の改善で生産性の向上したプロボローネの増産及び拡販に努めます
 ・国内で唯一飼育しているアングラ種種の生乳を活かした硬質系チーズ（製法で分類するとバルミジャーノレッジャーノ）の製造実験及び販売をおこないます

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量						年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		カチョカヴァロ	さけるチーズ	プロボローネ	自社乳チーズ	業務用各種	かけるチーズソース						
現況値 (平成29年度)	1.5	24	12	2	0	14	0	132,794	2,554	-	123,000	-	
目標値 (令和2年度)	2	25.6	12.7	16.7	1	13.2	0	165,969	2,401	(0.94)	172,600	(1.40)	
実績 (令和2年度)	1.3	11.28	5.1	19.39	0	2.46	9.31	158,430	3,333	(1.31)	90,036	(0.73)	
実績 (令和3年度)	1.29	8.65	4.33	6.08	0	0.8	46.3	198,587	3,014	(1.18)	171,727	(1.40)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額を40%増加させる目標に対し39.6%の増加と、やや目標を下回るものの、10%以上の販売額増加を達成していることから、おおむね目標どおりの成果を達成したと評価する。